

インフルエンザ 予防接種予診票

任意接種用

太枠内を記入してください。

		診察前の体温	度	分
住 所		TEL ()	—	
(フリガナ) 接種を受ける 人の氏名	()	生年 月日	年 月 日生 (歳 カ月)	

質 問 事 項	回 答 欄		特記事項
今日受けるインフルエンザの予防接種についての説明文を読んで理解しましたか。	いいえ	は い	
今日受けられるインフルエンザの予防接種は今シーズン何回目ですか。	2 回目	1 回目	
2 回目の方へ：1 回目の接種日 月 日			
接種する方がお子さんの場合：分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか。	は い	いいえ	
具体的に ()			
今日、体に具合の悪いところがありますか。	は い	いいえ	
具体的な症状 ()			
1 カ月以内に熱が出たり、病気にかかったりしましたか。	は い	いいえ	
いつ (月 日 ~ 月 日) 症状 ()			
発熱：(なし ・ あり 月 日 ~ 月 日)			
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてもいいと言われましたか。(はい いいえ)			
1 カ月以内に家族や周囲に麻疹、風しん、水痘、おたふくかぜなどにかかった方がいますか。	は い	いいえ	
病名 ()			
特別な病気(先天性異常、心臓・腎臓・肝臓・血液・脳神経、免疫不全症、その他の病気)にかかり医師の診断を受けたことがありますか。	は い	いいえ	
病名 ()			
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいといわれましたか。(はい いいえ)			
ひきつけ(けいれん)をおこしたことはありますか。(最後は 年 月頃)	は い	いいえ	
その時熱はでましたか。はい (°C) いいえ			
今までに間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器疾患と診断されたことはありますか。	は い	いいえ	
年 月頃 (現在治療中 ・ 治療していない)			
薬や食品(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったりしたことはありますか。	は い	いいえ	
薬・食品名 ()			
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか。	は い	いいえ	
予防接種名 () 症状 ()			
近親者に予防接種を受けて具合が悪くなった方はいますか。	は い	いいえ	
近親者に先天性免疫不全の方はいますか。	は い	いいえ	
女性の方へ：現在妊娠していますか。	は い	いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか。	は い	いいえ	

医師記入欄

以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は(実施できる・見合わせたほうがよい)と判断します。保護者に対して予防接種の効果・副反応、及び医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について説明しました。

医師署名 []

保護者記入欄

医師の診察・説明を受け予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種することに、**同意します。**

本人もしくは保護者の署名：

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名・メーカー名・製造番号：	0.25・0.5 (ml) (左 ・ 右)	山王ドームクリニック 鬼本 博文
	接種日：	年 月 日

インフルエンザワクチンの接種を受けられる方へ

〈ワクチンの効果と副反応〉

ワクチンの接種により、インフルエンザの発症を予防したり、たとえ発症しても症状が軽くすんだりします。そのため、インフルエンザによる重症化や死亡を予防する効果が期待されます。

副反応としては、まれにワクチンの接種直後から数日中に、発疹、じんましん、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみ、血管浮腫などがあらわれることがあります。全身症状として、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛、咳嗽、動悸、筋力低下など、また局所症状として接種部位に発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感、小水疱などが認められることがありますが、いずれも通常2～3日で消失します。蜂巣炎（細菌による化膿性炎症）、顔面神経麻痺などの麻痺、末梢性ニューロパチー、失神・血管迷走神経反応、しびれ感、振戦、ぶどう膜炎があらわれることがあります。非常にまれですが、次のような重大な副反応がみられることがあります。（1）ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）（2）急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など）（3）脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎（4）ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害など）（5）けいれん（熱性けいれんを含む）（6）肝機能障害、黄疸（7）喘息発作（8）血小板減少性紫斑病、血小板減少（9）血管炎（IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破砕性血管炎など）（10）間質性肺炎（11）皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症（12）ネフローゼ症候群 なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

〈予防接種を受けることができない人〉

- ①明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③過去にインフルエンザワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前に医師へ相談してください）
- ④その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

〈予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない人〉

- ①発育が遅く、医師や保健師の指導を継続して受けている人
- ②カゼなどのひきはじめと思われる人
- ③心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
- ④前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ⑤今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑥過去に免疫不全と診断されたことがある人、および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑦間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある人
- ⑧薬の投与または食事（鶏卵、鶏肉など）で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたりしたことのある人
- ⑨妊娠の可能性のある人

〈インフルエンザワクチンの接種間隔〉

生後6か月以上3歳未満の方には0.25mlを皮下に、3歳以上13歳未満の方には0.5mlを皮下に、およそ2～4週の間隔をおいて2回接種します。13歳以上の方は、0.5mlの1回接種を原則とします。

〈予防接種を受けたあとの注意〉

- ①接種後30分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ②接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ③接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、はげしい運動、大量の飲酒は避けましょう。
- ④高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。